

木炭デッサンの道具

1. 木炭紙
2. フィキサチーフ
3. 木炭
4. はかり棒
5. ガーゼ
6. カルトン
7. 消しゴム
8. 練り消しゴム



1 「木炭紙」

木炭紙は木炭デッサン専用の紙です。受験の木炭デッサンで使う木炭紙は木炭紙大というサイズの「MBMの木炭紙」です。木炭紙の表面には畳みの眼のような凹凸があります。描く時は凹みに木炭をすり込んだり、木炭を紙の表面でかすらせてでっぱりにだけ木炭を付着させて複雑な色を表現します。木炭紙でのこのようなやり取りが、キャンバスで絵具を駆使した表現の練習になります。

2 「フィキサチーフ」

フィキサチーフは、木炭デッサンが完成した後に木炭を定着させる定着液です。フィキサチーフの溶剤にはアルコールが使われており、木炭に吹き付け、木炭を湿潤させた後に数秒で揮発する優れモノです。フィキサチーフは木炭を定着させるためのものであり、絵具のように完全に固着させるものではありません。そのため吹き付け後指で触ると木炭がとれます。

3 「木炭」

木炭は、クヌギや柳などの枝を焼いて炭にしたものです。太さや硬さ、色にも様々なものがあります。初心者から上級者にお薦めの木炭が写真の伊研の200番です。熊谷美術研究所では200番に加え、細くて硬い980番をお薦めしています。

4 「鉛筆」

はかり棒は、目でデッサンの狂いを探る時の補助用具です。比率を比較することで長さをはかること。斜めの角度をはかるときに使います。

5 「ガーゼ」

ガーゼは、木炭紙に塗った木炭を擦って伸ばしたり、ぼかしたり、塗ったりする道具です。木炭をガーゼで擦ると鈍い色を表現することができます。鈍い色は、物の明るい部分に対して、鈍くなる暗い部分の表現に必要です。ガーゼは木炭デッサンで暗い部分を表現する時の必需品です。

6 「カルトン」

木炭デッサンを描く時の画板兼制作後の木炭デッサンや未使用の紙の保存用具です。制作する時はカルトンに木炭紙をクリップでとめます。

7 「消しゴム」

練り消しゴムは消す力が弱いので、しっかりと消したい部分は消しゴムを使います。

8 「練り消しゴム」

消す道具ですが、消しゴムとの違いは、強く消しすぎてしまう消しゴムに比べて薄く加減がしやすい点。指でつまんで消しやすい形が作れる点です。

「その他に必要なもの」

カッターナイフ、クリップ、ゴミ箱、カメラ(記録用)